

ストーブに起因する火災

火災概要

就寝中、居室内で使用していた電気ストーブから出火し、室内にあった布団類が焼損した「建物火災」です。この火災で中等症1名、軽症1名の負傷者が発生しました。

原因概要

本件、火災の原因は、就寝中、居室内で使用していた電気ストーブに布団が接触し、着火したものです。枚方寝屋川消防組合管内では、平成20年の年末から今年1月末にかけて同様の火災が6件発生しており、程度は全焼1件、部分焼2件、ぼや3件となっており、5名の負傷者が発生しています。

(実験データ)

当消防本部で、過去に行った衣類着火実験では、電気ストーブに衣類(ジャンパー)を覆わせたところ、約20秒で発煙し、約1分20秒後には表面温度が240℃に達し発火しました。

このことから、もし就寝中に発生したならば、生命に危険を及ぼす火災に発展すると考えられます。

【過去の燃焼実験の様相：毛布を使用しての実験】



燃焼器具に可燃物が接触する。



約20秒で白煙が出始める。



炭化した毛布の状況。

類似火災の防止対策

同様の火災は毎年、急に寒くなる時期に集中して発生していることから、ストーブの使用台数が一気に増えることも、この時期に多い原因と考えられますが、また、使用者が火災を出さない暖房器具(電気ストーブ)を使用することでの油断や気の緩みも、火災発生の大きな要因だと思われます。

【対策】

- (1) ストーブの周辺には十分な保有空間を開け、就寝時はできるだけ使用しない。
- (2) 就寝時、使用する場合は布団が動いても接触しない十分な距離を開ける。
- (3) ストーブの上部には、洗濯物等を干さず、落下の恐れがあるものは置かない。
- (4) 使用していないプラグは、コンセントから抜く。

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・